

門山ひろあきさんの決意

ワクチン接種の加速化を

新型コロナウイルス感染症については、現在も警戒すべき状況が続いています。新型コロナウイルスとの闘いの最前線に立ち続ける、医療、介護などの現場の皆さまの献身的なご尽力へ深い敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。政府では病床・宿泊療養体制の確保、持続化給付金や雇用調整助成金の特例措置、家賃支援給付金をはじめとした中小企業への支援策を打ち出してきました。

新型コロナウイルス感染の収束のカギを握るのはワクチンだと考えています。新型コロナワクチンは2回の接種によって、約95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること（発症）を防ぐ効果が認められています。1人でも希望する多くの国民が可能な限り迅速に接種を受けられるよう体制整備の強化を図ることで、国民の安心を取り戻していきます。

コロナ禍を克服し、そしてデジタル化の推進、グリーン社会の実現という次の成長の原動力を作り出し、積極的にイノベーションを促し日本経済の成長力の戦略的な底上げを図らなければなりません。「あなたが誇れる日本へ」。未来の子供たちのために、日本の政治・経済そして文化は世界に誇れるものだと胸を張って言えるような国づくりを目指し、これからも謙虚に誠実に、ぶれることなく日々の活動にまい進してまいります。



ワクチン接種に関して、7月末までに高齢者への2回接種が完了できるように、神谷俊一千葉市長にお願いし、神谷市長より新型コロナ対策に関する国に対する要望をお受けいたしました



消費者問題特別委員会にて「消費者被害の防止及びその回復の促進を図るための特定商取引に関する法律等の一部を改正する法律案」の審議で、契約書面などの電磁化に伴う意思表示の効力発生時期について消費者保護の観点から質問に立ちました

新型コロナワクチン NAVI

最新情報はここから

厚生労働省HP
新型コロナワクチンについて

ワクチンの効果

発症や重症化の予防が確認されています。

多くの方が接種すれば重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことにもつながります。さらには、社会経済活動をより安心して再開できるようになります。

希望する対象の方全員が2回接種できる量のワクチンは政府が確保しますので、安心して予約をお取りください。

ワクチンの副反応

ワクチン接種は体内に異物を投与するため、接種したところの腫れ・痛み、発熱、頭痛などが起こることがあります。これは新型コロナワクチンに限らず、他のワクチンでも言えることです。

例えば、米国でのファイザー社ワクチン接種後に起きたアナフィラキシー（急性アレルギー反応）の頻度は、100万回接種あたり4.7例です。74%が接種後15分以内、90%が接種後30分以内に症状が現れています。アナフィラキシーが起きたとしても、接種会場には必ず医師がいますので、その場ですぐに治療を受けることができます。

接種後も対策を

ワクチンを接種しておくことで、感染しても発症や重症化の可能性を低減できますが、全く感染しなくなるわけではありません。

引き続き、密集・密接・密閉の「3つの密」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒など対策が必要です。

動画で見る
新型コロナワクチンQ&A

一般的なワクチン接種の流れ

※自治体によって異なりますので、必ず案内をご確認ください。

